

平成 22 年 12 月 22 日

各 位

会社名 株式会社ウェッジホールディングス
代表者名 代表取締役社長 田代 宗雄
(コード 2388 大証 J A S D A Q 市場)
問合せ先 取締役経営管理本部長 浅野 樹美
(TEL 03 - 6225 - 2207)

内部統制報告書の評価結果不表明に関するお知らせ

当社は、平成22年12月22日に金融商品取引法第24条の4の4第1項に基づき平成22年9月期における内部統制報告書を提出いたしました。本報告書において平成22年9月期の財務報告に係る内部統制の評価結果を表明できない旨を記載しておりますので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 評価結果の内容

当社は、一部の海外連結子会社において評価手続を実施できなかったため、財務報告に係る内部統制の評価結果を表明できないと判断いたしました。

2. 評価結果等の具体的な内容

当社は、財務報告に係る内部統制の評価結果を表明できないと判断いたしました。これは、一部の海外連結子会社において重要な評価手続を実施できなかったことによるものであります。

実施できなかった重要な評価手続は、以下の通りであります。

①全社的な内部統制の評価手続

②業務プロセスに係る内部統制の評価手続

重要な評価手続が実施できなかった理由は、海外連結子会社の現地法で内部統制監査が制度化されていないため、十分な協力体制を築くことができなかったこと、また限られた人的資源をその海外連結子会社への内部統制監査制度の啓蒙及び評価業務に従事させることが困難であったことによるものであります。

なお、当社としては、重要な評価手続を実施できませんでしたが、現地法に対応した財務報告の内容については海外連結子会社の監査を実施している監査法人である Ernst & Young からは適正意見を得ており、連結財務諸表及び財務諸表に及ぼす影響はありません。

3. 今後の対応

当社は、対処すべき課題の一つとして、東南アジアにおける事業の推進とグローバル化に対応したグループ統制水準の向上を掲げております。

今後の成長に対応しうる経営管理体制・統制を整備・強化していくことは、重要な課題として捉えており、財務報告に係る内部統制の整備及び運用についても重要と認識しております。今後当社は内部統制プロジェクト・チームの再編成等を通じて、早急に内部統制環境の整備及び運用評価を進めてまいります。

以 上